

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN)

第 132 回常任理事会議事録 (案)

日 時：令和 6 年 10 月 3 日(水) 9:00-9:15, 10:00-10:45

場 所：参加 Teams ミーティング

出席者：会長：大滝，事務局長：奥田，書記：中尾，理事：小原，小林，小松，齋藤，澤邊，宮井，編集委員長：小田，事務局：井上，渡辺（齊藤）

■協議事項

1. 2024 年大会の実施方法について

沢邊大会担当理事より 2024 札幌大会について，会場案が資料に基づいて説明があり，了承された。

2. 2025 年の大会開催地（山梨）について

沢邊大会理事より，2025 年度の大会の実行委員長の選定について，奥田事務局長の再確認があり，議論の後に承認された。日時など内容について継続審議となった。

3. 学会 40 周年記念大会について

奥田事務局長より，2025 年度は本学会の 40 周年の記念大会であり，大会の内容について検討したいと提案があり，継続審議となった。

4. 2025～2026 年の役員候補者について（小松）。

小松選挙担当理事より，次期役員候補者資料に基づいて説明があり，承認された。小原学会賞担当理事はさらに 1 期継続とする提案があり，了承された。

5. 編集関係

小田編集委員長より，学会投稿規定と投稿要領の改訂を進めている，また，一定の長さ以上の原稿とカラー印刷に掲載料を追記する提案があり，了承された。

6. 学会賞選考

小原学会賞担当理事より，学会賞選考委員会で決定した論文賞 1 件と技術賞 1 件の提案があり，承認された。

功績賞：該当なし

功労賞：該当なし

技術賞：山梨県産業技術センター「甲州オレンジワインの醸造技術に関する研究（仮題）」

論文賞：小田昌希（ルイ・バストゥール医学研究センター）「ワイン原料用ブドウ生産者が持つ農地保全効果についての考察－長野県千曲川ワインバレーを対象に－」

7. その他

- ・受賞者へのメダル発行について

奥田事務局長より、受賞者のメダル発行について希望者に実費にて発行をする提案があった。負担額の確認が必要であるなど議論が交わされ、継続審議となった。

■報告事項

1. 創森社から出版するカルチャーセンター向けテキストの作成依頼について

奥田事務局長より、継続中であると報告があった。

2. 2024年札幌大会の進捗現況

澤邊大会担当理事より、口頭発表23件、ポスター発表16件、特別講演1件、セミナー2件が発表予定であり、引き続き大会に向けて準備中であることの報告があった。

3. 編集現況

小田編集委員長より、2024年度は1号が6月に発刊済みで、2号は学術報告と大会要旨を合わせて12月に発刊予定であると報告があった。2025年の1号は100号になるので、内容を検討中であると報告があった。

4. その他

- ・斉藤事務局員より、2024年度の会員の入出会員数が資料に基づいて、説明があった。
- ・斉藤事務局員より、大会参加費や学会費の支払い方法の一つとしてクレジットカード決済を導入予定であると説明があり、了承された。
- ・学会事務局より、産業会員からの大会出席者の会費徴収について検討中であると報告があった。

以上

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN)

学会賞選考委員会議事録 (案)

日 時：令和6年10月3日(水) 9:15-10:00

場 所：参加 Teams ミーティング

出席者：会長：大滝，事務局長：奥田，書記：中尾，理事：小原，小林，小松，齋藤，澤邊，宮井，編集委員長：小田，事務局：渡辺（斉藤）

協議事項

小原学会賞担当理事より，推薦結果資料に基づいて説明があり，議論を行った結果，技術賞1件，論文賞1件が承認された。

功績賞：1件の推薦あり。対象無し。

功労賞：1件の推薦あり。対象無し。

技術賞：2件の推薦あり。山梨県産業技術センター「甲州オレンジワインの醸造技術に関する研究（仮題）」

論文賞：1件の推薦あり。小田昌希（ルイ・パストゥール医学研究センター）「ワイン原料用ブドウ生産者が持つ農地保全効果についての考察－長野県千曲川ワインバレーを対象に－」

また，各賞の受賞基準について，今後検討の必要もありうるとの意見が出た。